

□ 要請番号 (JL52424A39)

募集終了

3

すべての人に
健康と福祉を

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マラウイ	H105 看護師	20~45 歳のみ	個別	交替 6代目	2年	・2024/3・2025/1・ 2025/2



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ムジンバ県南部病院

3) 任地 (ムジンバ県ムジンバ) JICA事務所の所在地 (リロングウェ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約4.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先である公立県病院は、人口約97万人、ムジンバ県の南部地域に位置する総合病院である。同時に県の保健行政も担当し、管轄する約30のヘルスセンター(診療所)とともにムジンバ県南部地域の住民へ保健・医療サービスを提供している。病床数約250床。年間予算約5,800万円。医師2名、准医師24名、医療助手26名、看護師68名が診療にあたっている。過去にJICA事業として5S-KAIZEN-TQM(整理・整頓を通じた医療サービスの向上)の導入、普及が行われたパイロット病院である。これまで薬剤師、栄養士、行政サービスの隊員が派遣されており、2011年度から公衆衛生隊員が5代にわたり派遣され、本案件はその後任要請である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

マラウイの医療機関における医療従事者の空席率は、地域によって異なるが約30~50%と慢性的な人材不足が課題となっている。配属先へは1日あたり100~300名の妊産婦や幼児を連れた母親が5歳未満児健診に訪れるため、同僚職員は多忙を極めている。前任となる公衆衛生隊員は、同健診の補助を実施し、そのほか予防接種やマラリア検査の実施補助、先代隊員が継続してきた母子手帳(ヘルスパスポート)の記入不備による栄養不良時の早期発見と栄養指導等を実施した。配属先である同病院の環境保健部門は、引き続き同様の活動を実施する隊員を求めているため、後任の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.5歳未満児健診活動(身長・体重測定)の補助等を実施する。
- 2.健診介助者(インターン学生や母親等)に対し、ヘルスパスポートの適切な運用方法を指導する。
- 3.他科を参考にしつつ、配属先環境保健部門において、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の導入を促進する。
- 4.その他、配属先から求められる業務を支援する。(なお、配属先である同病院の環境保健部門は、上記のほか、予防接種の促進・管理、マラリア検査、妊産婦健診や栄養不良児のための改善事業「村落部ヘルスセンターでの巡回健診の実施等」を行っている。)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

業務机、椅子

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
環境衛生長1名(DEHO、50代、男性)
環境衛生オフィサー4名(EHO、30～40代、男性)

活動対象者:
健診に訪れる母子、同僚DEHOやEHO、健康関連調査助手数十名程度

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(看護師)

[学歴]：(大卒) 備考：同僚への助言に知識が必要

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：同僚への助言に経験が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(10～30℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水源]：(安定)

【特記事項】

業務および日常生活では英語が通じますが、来院する母子など地域住民への説明には現地語(トゥンプカ語)が必要となるため、赴任後の現地語学訓練で学習します。

【類似職種】

- ・公衆衛生
- ・助産師

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。